

もっと笑顔で、暮らせる明日へ。

aito

8

Aug 2026
No.377



アンデスメロン

(ネットメロン部会)



アールスメロン

(温室メロン部会)

【特集】たがわ産メロン

【ミニ特集】第47回 月山ワインまつり

アンデスメロン

収穫時期
6月～8月

ネットメロンは地面に這わせながら栽培します。子ヅル1本に2果着果させ、株あたり4果を実らせませす。メロンを傷や汚れから守り、底の部分の着色不良をふせぐため、下敷きネットやマットを使います。

アールスメロン

収穫時期
7月～9月

温室メロンは育苗後のハウスを利用し、株あたり1果を残し栽培します。また、ツルを上には伸ばし果実を吊るすように育てます。吊るした後は、果実の日焼けを防ぐために、袋かけを行います。



メロンのおいしい食べかた

メロンの甘みや香りを引き出し、果肉を柔らかくするためには、追熟が必要です。品種や収穫のタイミング、購入時期によって追熟に必要な日数は異なります。箱入りメロンの場合、湿気で傷むのを防ぐため、箱から出してメロンの底の部分にキッチンペーパーなどを敷いて追熟させましょう。

食べ頃のメロンは、芳醇な甘い香りがします。メロンの底の部分を押したときに、少しやわらかさや弾力があれば食べ頃です。

メロンは食べる2～3時間ほど前に冷蔵庫に入れて冷やすと口当たりが良くなり、おいしくいただけます。



ネットメロン圃場巡回

J A庄内たがわネットメロン部会は6月15日、三川町で圃場巡回を行いました。

この日は、部会員3人が参加し圃場2カ所を巡回しました。

庄内農業技術普及課の担当者は、梅雨時期はエルニーニョの影響により雨天や曇天が予想されるため、降雨前の予防防除、早期防除、定期防除に努め病害発生に注意するよう呼びかけました。また今後も高温で推移することから、果実肥大に合わせた灌水管理を行い、試し割りによる適期収穫を行うようにアドバイスしました。

温室メロン圃場巡回

J A庄内たがわ温室メロン部会は7月6日、圃場巡回を行いました。この日は部会員と庄内農業技術普及課の担当者、園芸特産指導員合わせて8人が参加し、鶴岡市、庄内町、三川町にある圃場の生育状況を確認しました。2026年産は天候に恵まれ、生育は順調に進んでいます。

同指導員は、アブラムシやハダニなどの病害虫による被害を抑えるため、防除を徹底する他、果実肥大期の適切なかん水管理を呼びかけました。



アールスメロン(温室メロン部会)

みずみずしい食感にとろけるような甘さが特徴のメロン。JA庄内たがわ管内では、アールスメロンとアンデスメロンが栽培されています。

色づきが良く網目が整ったメロンを収穫するためには、水・温度の管理や防除、摘心・摘果などの丁寧な栽培管理が重要です。



メロンの栄養

メロンにはカリウム・ビタミンCが豊富に含まれています。カリウムは、からだの中の余分な塩分を排出する作用があり、高血圧やむくみ、肥満予防に効果的です。ビタミンCには、鉄分の吸収促進や免疫力向上などの作用があります。また、全体の90%が水分で出来ているため、暑い夏の水分補給にも役立ちます。

特集

たがわ産 メロン



アンデスメロン(ネットメロン部会)



南部支所（温海）管内 鈴木 けいさん(34)



気軽に遊びにきてください!

詳しくは「トーチてらす」で検索

くらしが豊かになる場

私は、3年間の温海地域での地域おこし協力隊の活動を終え、今年4月からあつみ温泉駅前の空き家を改装してコミュニティスペース「トーチてらす」をオープンしました。ここは学生の学校外の学びの場であり、地域の井戸端会議の場であり、訪れた方が自由に過ごせる場であって、以前であれば当たり前にどの地域にもあった老若男女問わず集まれる場です。

以前、若者の自己実現や自主活動を応援する仕事をしており、その成長には体験する機会と場が重要だと感じました。温海地域は西に日本海、東に摩耶山、開湯1千年の温泉街をはじめ、伝統芸能や伝統工芸、伝統野菜などがあり、それらに熱い思いを持った地域の皆さんがいます。ここに機会と場さえあれば自分の暮らす地域の魅力、何年たっても思い出してしまう体験ができるはずなんです。

今後は、イベントを開催しながらもっと色々なことが出来る場にしていきたいと考えています。また世代を超えて学び、語り、楽しめる自由な場として地域の皆さんと一緒に育てていきたいです。

ファミリーファーム

FAMILY FARM

スマート農業をすすめ、次の世代へ

企業に勤めていた私は、もともと農家を志しており、農業をしている父の面積が増えたのを機に、22年前の24歳の時に就農しました。現在は、家族とともに水稲、大豆、アスパラガスを栽培しています。

農業は、私がモノを作ることが好きだったこともありですが、自分のしたいように作業が進められ、自分のリズムで仕事ができる楽しさがあります。また、とてもやりがいのある職業で、アスパラガスは給食にも出しており、自分が作った作物を子供たちが食べて「おいしい」と言っている姿を見ると嬉しくなります。

農業を通して多くのことを学びましたが、特に人と人とのつながりは農業において重要だと感じています。

今後は、ドローン散布やスマート農業化を考えています。将来、農家を志す息子にも少しずつ作業を手伝ってもらいながら農業を繋いでいきたいです。



藤島支所管内 成田 元気さん(46)

あゆみさん(43)
ゆうと 悠都さん(16)

好き嫌い
しないで
何でも
食べる!

あいと
キッズ



人の気持ちがわかる思いやりのある子へ

三川支所管内 おおたき ふうが 楓花ちゃん(2)

おしゃべりが大好きな楓花ちゃんは、最近大人の真似をして庄内弁も喋っているよ。普段はおままごとや公園で遊んでいて今はアンパンマンに夢中♪いちごやアイスなどの甘いものが大好き♡



公園で遊ぶのが
好きだよ!

SHONOSEITRY

憧れの父の背中



羽黒地区の猪俣新田に生まれ育ち、稲作を営む父の背中を見て育った私は、幼い頃から種まきから収穫までの一連の農作業に親しんできました。稲作農家としての父の姿は、常に私の目標であり憧れです。庄農へ入学する際、父から「新しい稲作技術をしっかり学んでこい」と力強く背中を押されたことは、現在の私の学びの原点となっています。学校で習得する最新の農業技術と、長年の経験を持つ父から教わる現場での実践的な知恵。その両方を等しく大切にすることが、私のこだわりです。「農機具は怖がらず、しかし細心の注意を払って扱う」という父の教えに触れるたび、食を支える農業という仕事の責任の重さと奥深さを改めて実感しています。

先日、父と二人で農作業をしている最中に「お前と一緒に楽しい」という言葉をかけてもらいました。その一言は、私にとって何にも代えがたい喜びであり、地域農業を次世代へ引き継ぎ、しっかりと支えていくという決意を強くするきっかけとなりました。これからも父の背中から学び、学校で最新技術を吸収し続けることで父とともに田んぼを守っていきたいと思います。

庄農生トライ

すがわら こうは 食料生産科3年 菅原 宏巴さん



スプレー菊/生育順調、病虫害防除の徹底を

花き部会菊・スプレー菊専門部は7月22日、櫛引地域でスプレー菊の圃場巡回を行った。部員約10人が参加し、生育状況や今後の栽培管理を確認した。

市場・種苗メーカー関係者を招き、庄内農業技術普及課の担当者、JA職員が同行。

2026年産の生育は、例年よりやや早まっているが目立った病虫害被害なく、葉色も良好で順調に推移している。

今後は、適切な栽培管理や病虫害防除に努め、取引市場と綿密に連携しながら高品質出荷を目指す。



パプリカ/適正温度維持と病虫害防除を呼び掛け

三川町パプリカ生産者協議会は7月8日、三川町で圃場巡回及び夏季栽培管理講習会を開き、生育状況や栽培管理のポイントを確認した。

2026年産は天候にも恵まれ順調に生育が進んでいる。4月下旬に定植したパプリカは果実の着色がすすみ、7月5日から集荷を開始している。

この日は、同会員と庄内農業技術普及課の担当者、園芸特産指導員ら約10人がハウス6カ所を巡回。遮光や換気で適正温度を維持し病虫害の早期発見、早期防除に努める。



青年部温海支部/サマーフェスティバル初開催

青年部温海支部は7月18日、温海地域センターで「サマーフェスティバル in あつみ」を初めて行った。地域の夏のイベントを復活させようと同青年部が主催し8年ぶりの開催となった。

青年部バンドをはじめとする生バンドのライブイベントの他、キッチンカーでのフード販売、部員らによるドリンク販売、同支部の部員が栽培する米や温海地域の特産品が当たる食の抽選会を行った。



焼畑あつみかぶ/収量回復へ春播き実証

温海事業所園芸振興部会は7月9日、温海地域センターで焼畑あつみかぶの栽培講習会を開いた。部会員約30人が参加し、庄内農業技術普及課の担当者が安定生産のポイントを説明した。

また、温暖化の影響等により夏播き・秋収穫が過去3年間不作であったため、春播き・夏収穫の作型の実証を2026年度初めて行った。関係機関の協力もあり果実の肥大・着色は順調に進み、7月2日から集荷が開始された。引き続き情報を共有し、有効性を検証していく。



庄内柿/大玉目指し仕上げ摘果学ぶ

三川支所庄内柿部会は7月6日、三川町で庄内柿の仕上げ摘果講習会を開いた。参加した部会員約10人が、大玉生産に向けた摘果作業のポイントを学んだ。

2026年産は、例年より奇形果が多いものの果実肥大は良好で長径・短径・果高は25年産を上回っている。

庄内農業技術普及課の担当者が講師を務め、摘果時の留意点を説明。

今後は、夏季の枝管理やかん水の他、病虫害防除や防雹対策など栽培管理を徹底し大玉生産に努める。



ネギ/圃場巡回で生育確認

長ねぎ部会は7月14日と16日、管内で露地長ねぎとハウス軟白ねぎの圃場巡回を行った。部会員約20人が参加し、圃場17カ所を巡回。生育は、病虫害被害は少なく、太さや葉色など良好で概ね順調に進んでいる。

庄内農業技術普及課の担当者と園芸特産指導員が同行し、生育状況や栽培管理のポイントを説明。

同部会では今後、朝夕の涼しい時間帯のかん水や換気など適期管理の他、病虫害防除を徹底し、収量確保・高品質生産につなげていく。



青年部/分施巡回し、生育に合わせた管理を確認

青年部は7月3日、藤島地域と羽黒地域、庄内町の水田4カ所で分施巡回を行った。部員ら約10人が、生育状況と今後の栽培管理を確認した。

稲作技術を指導している「稲株塾」の松浦一宇さんが講師を務め、生育状況を確認し、今後の栽培管理を助言した。2026年産は、好天に恵まれた他、部員らの適切な管理により株ぞろいや葉色など良好で順調に生育が進んでいる。

部員らは学んだことを活かし、生育に応じた管理で高品質生産につなげていく。



枝豆/適期収穫に努める

枝豆部会は7月17日、鶴岡市と庄内町、三川町の圃場巡回を行った。部会員約10人が生育状況や収量確保・高品質生産に向けた栽培管理を確認した。

庄内農業技術普及課の担当者、園芸特産指導員が圃場10カ所を巡回。2026年産は、天候に恵まれ、目立った病虫害被害もなく順調に推移している。

同部会では今後、病虫害防除を徹底し、適期収穫や温度管理で鮮度維持に努め、高品質なエダマメの出荷につなげていく。



第47回

JA 庄内たがわ

月山ワインまつり

ここでしか飲めない! 買えない! 当たらない!

第47回月山ワインまつり
限定ワイン3銘柄を準備!!

抽選会の特賞は2027年本格デビューの
『ゆきまんてん』30kg!!

総合司会はナマリーポートマン!!

日時 2026年9月5日(土) PM2:30~PM4:30 (受付開始PM2:00)

場所 グランド エル・サン クリスタルホール
(鶴岡市東原町17-7)

前売券 20歳以上の方 3,000円
(抽選券+樽ワイン・ジュース飲み放題+有料試飲ワインチケット5枚)

20歳未満の方 500円(抽選券+ジュース飲み放題)

詳しい情報は、
SNSをご覧ください!



イベント ★月山ワイン有料試飲会 ★樽ワイン・ジュース飲み放題
★抽選会・じゃんけん大会 ★フード・ワイン販売

おかわり券(有料試飲ワインチケット5枚)1,000円・フード等は会場で販売(現金購入となります)

※入場には飲酒の有無にかかわらず、年齢に応じた前売券が必要です。
※当日券の準備はございませんので、前売券をお買い求め下さい。
※より多くの方に楽しんでいただくため、席はこちらで指定させていただきます。

※会場への飲食の持ち込みはできません。
※前売券販売期間8月28日(金)まで(定員になり次第締め切らせて頂きます)。
※会場内全席指定のため3歳以上の方は前売券をお買い求め下さい。
※お客様のご都合により参加できない場合、チケット代金の払い戻しは致しません。
※駐車スペースには限りがございますので、公共交通機関の利用や乗り合わせにご協力下さい。

お申込み

月山ワインまつり実行委員会(JA庄内たがわ総務部) TEL0235-64-3000

北部支所 TEL0234-42-1000 藤島支所 TEL0235-64-2212 三川支所 TEL0235-66-2323 羽黒支所 TEL0235-62-2141
南部支所 TEL0235-57-2150 鶴岡センター TEL0235-43-3411 立川事業所 TEL0234-56-2077 朝日事業所 TEL0235-53-2513
月山ワイン山ぶどう研究所 TEL0235-53-2789 産直 んめ農マルシェ TEL 0235-25-6778

んめ農マルシェ/8周年祭感謝祭盛況

産直んめ農マルシェは7月25~26日、開店8周年を祝う周年感謝祭を開いた。

ジャガイモ・ニンジン、タマネギの詰め放題や庄内豚肉「ぶーみん」の特価販売を行った他、各日50人限定で店内商品の購入者にお買物券をプレゼントした。さらに応募者の中から抽選で20人に特典が当たる感謝企画も行った。

両日とも開店と同時に多くの客が来店し、今が旬の枝豆やメロン、ナスなどの会員自慢の青果物や精肉を買い物がごにしていた。



ミョウガ/出荷規格等を確認し高品質出荷へ

鶴岡市温海地域のJA庄内たがわ集出荷施設でミョウガの集荷作業が始まった。2026年産は着色が良好で生育も順調に進んでいる。

7月23日、管内のミョウガ生産者は同施設でミョウガの目揃会を開いた。生産者約30人が参加し、園芸特産指導員がサンプルを用いて出荷規格や調整時のポイントを示した。今後は、高温による傷みや取り置きによる劣化を防ぐためこまめな出荷を徹底し、高品質なミョウガの出荷を目指す。



女性部/焼き肉のたれ作り

女性部は北部、藤島の2支部で焼肉のタレ作り講習会を開いた。この取り組みは、部員同士の親睦を深めることや出来たタレを使った焼肉料理などで栄養補給し、暑い夏を乗り越えることを目的に行われている。

講習会では、部員同士が協力し教え合いながら役割分担して調理を進めた。リンゴやタマネギ、にんにくなどをミキサーにかけ、12種類の材料と調味料を鍋でひと煮立ちさせ完成。十分に冷ましてからペットボトルなどの容器に均等に分け合った。完成した焼肉のタレは家庭で焼肉につける他、色々な料理の味付けなどに使用される。



「心の声」

あなたの今HOTな事・ものを
教えてください。

今HOTなことはサウナです。気分転換やストレッチ発散のために利用しています。温泉施設を巡り、いろいろなサウナを楽しんでいます。入り方にはいろいろなくさっぱりサウナで汗を出したら水風呂でクールダウン、そして休憩する。入浴後は水分をしっかり取ります。整う瞬間のフワッとした感じが最高です。 K・Yさん【鶴岡市】

今年3月に体調に不安が出て今までにない心が落ちこみ、助けられたのは元気な声で、毎日家族で商いが出来たことです。息子も私のために椅子を買ってくれて本当に家族に「感謝」ですね。身も心もHOTです。家族に「ありがとう」です。 Y・Sさん【鶴岡市】

いよいよ梅雨も明け、蝉の声が喧しくなり夏本番を迎えました。夏野菜のガーデニングに動んでいます。暑さのため身体には堪えますが、工夫して育てたいと思います。 M・Kさん【京都府】

家の前を歩き登校している入学時の女の子に「おはよう」とこちらから声掛け・・・

先日「おはようございます」と朝の元気な挨拶頂きました。もう3年生かな～

E・Hさん【庄内町】

懸賞を楽しむこと

休みの日はスーパースーツを探すくらい好きです！

M・Sさん【鶴岡市】

猛暑で水分補給をしつかりしたいので、スイカにハマっています。色々な産地の食べ比べも楽しいです。 H・Kさん【愛知県】

今HOTなことはジャム作りです。梅に始まり、昨日はバケツ一杯のプラムのジャムを作りました。今度は、冷凍にして採り貯めているブルーベリーのジャム作りです。 K・Sさん【鶴岡市】

ネットメロン部会

私たちネットメロン部会は、管内生産者10人がハウスやトンネルでツルを地面に這わせるように育て、糖度の高いアンデスメロンを栽培しています。収穫時期は6月～8月、細かく美しい網目とジュシーで、とろけるような口当たりと強い甘みが特徴の日本生まれの人気の高いメロンです。



温室メロン部会

私たち温室メロン部会は、管内生産者18人が育苗後のハウスを利用して、アールスメロンの果実を株あたり1つ残し、ツルを上には伸ばして吊るすように栽培しています。収穫時期は7～9月、細かく美しい網目とみずみずしく、とろけるような柔らかい果肉が特徴で贈答品としても人気です。



aito

Aug 2026
No.377

発行/庄内たがわ農業協同組合 〒999-7611 山形県鶴岡市上藤島字箱中下3-1
TEL.0235-64-3000 E-mail tagawa@ja-shonai.or.jp
印刷/庄内農村工業農業協同組合連合会

